

日本開拓アプリ『さあちず!』

Application for traveling Japan: "Searchz!"

キャリアの特性を活かした付加機能

『さあちず!』には、3つのメイン機能のほかに、各キャリアの特性を活かした機能がついている。以下に、キャリアの特性と機能をあげる。

au

特性

サーバを介せずGoogleMapに直接アクセスできる！
データフォルダをアプリから直接触ることが出来る!!

Hide and Seek Treasure



データフォルダにあるデータを、お宝としてアプリからアップロードできる。データフォルダをアプリから直接操作することができ、アプリを終了させずにお宝を隠すことができるのはauだけの機能である。写真なら撮ったその場で簡単、すぐに隠すことができ、感動や興奮もそのまま伝わる。

Moving The Map

現在地周辺の詳細地図を見たいときに、数字キーを押すと、その数字に対応した方向に地図がスクロールし、周辺の詳細地図を見ることができる！という便利な機能である。

DoCoMo

特性

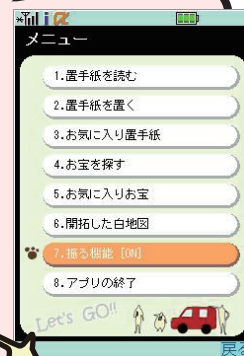
開発環境が整えやすく904シリーズから導入された振る、傾けるの動作を感知できるモーションセンサーが使える。

Shake Reader

SH904iに搭載されているカメラで傾きや振動量を感知し、その振動量をアプリで計算して一定の値を超える毎に白地図と詳細地図の切り替えや、「戻る」操作の代替となる。これによってアプリ内でボタンを押す動作を行わずに直感的に、かつゲーム性による楽しさを持ってアプリを動かせる。

Audio Presenter

Shake Readerを使用する際に各所で音楽や効果音を入れることによって、画面を見なくても振る動作に対する結果がわかるようになっている。また、音楽や効果音を入れることによってアプリを操作する際の単調さを少しでも解消する。



SoftBank

特性

拡張APIが公式に提供されてため、開発領域が広い。基地局による位置情報取得のため、現在地情報取得が早い。

スームSVG (Seamless Visualized Graphic)



SVG形式の白地図を採用し、白地図を自由自在に拡大縮小できる。また、拡大縮小する際に通信を一切行わないのでシームレスな拡大縮小を実現した。(*1)

コンテンツショートカット

位置情報の取得が早いことと専修大学が実施したアンケートの結果を合わせて発案した。位置情報の更新時に、白地図表示画面で現在地の市町村名の表示をしたり、現在地の置手紙とお宝の件数を表示する。そこで取得したい置手紙やお宝を選択するとそのままリスト表示画面に飛ぶことができる。

*1: SVG (Scalable Vector Graphics) とは、XMLによって記述されたベクターグラフィック言語のこと、あるいは、SVGで記述された画像フォーマットのこと。

WILLCOM

特性

アプリ開発において、自由度が高く、資料も多くあり、インストールが簡単なので開発しやすい。

足跡機能

ごく短時間で位置情報の取得が可能のため、アプリを起動してから、どう移動したのか詳細地図に足跡として表示できる。移動の履歴がわかる。

お宝を隠す

フルブラウザ(*2)を使うことができ、ファイルのアップロードもできるという特長を活かし、ブラウザからお宝をアップロードすることができる機能である。

コンテンツショートカット

SoftBankのコンテンツショートカットと同じ機能である。

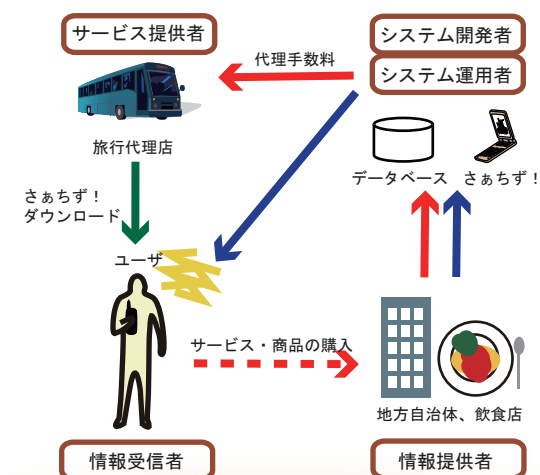
*2: 携帯電話などでもパソコン向けに作られたWebコンテンツを閲覧することができるブラウザのこと。



ビジネスモデルの提案

以下に『さあちず!』を利用したビジネスモデルを提案する。

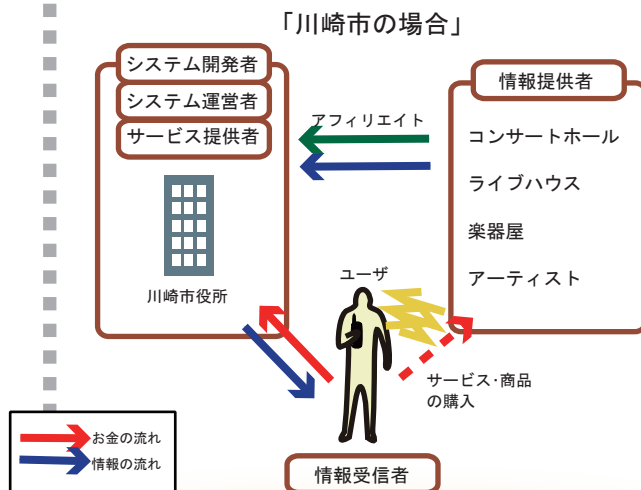
旅行者支援モデル



新しい旅行スタイルと、大切な思い出に付加価値をつけるサービス「さあちず!」

「さあちず!」の置手紙機能や宝探し機能を使うことで、今までにない形で思い出と関わるができる。これは市場調査で明らかとなった「思い出は大切にしたい」という声に応えることができるサービスである。また、「さあちず!」によって様々な情報を手に入れられることを活かし、旅行中はケータイだけという新しい旅行の形を提案する。情報受信者はケータイひとつで旅行することができ、思い出を多くの人に見せるという今までにない形で残すことができる。システム運用者は情報提供者からのアフィリエイト広告を載せることでコミッションによる収入を得る。サービス提供者は、システム運用者からアプリ配布によるコミッションによる収入を得る。情報提供者には新たな広告媒体が提供される。その結果、旅行者に新しいスタイルで旅行を楽しんでもらえるモデルが成り立つ。

地域活性化モデル



神奈川県川崎市が推進「音楽の街の川崎」を広くアピールするケータイネットワークサービス「さあちず!」

コンサートホール、ライブハウス、楽器屋、アーティスト、そして市のイベント等、載せたい情報を、「さあちず!」アプリ上で、1つのネットワークで結ぶことができる。また、アーティストは音源を載せることで活動を多くの人に発信でき、情報受信者は、文字だけでなく音も加わった充実した内容の情報を取得することができる。サービス提供者は音楽活動がしやすい環境を整えることにより、音楽を愛する人が集まる街となる。またアフィリエイトをとる場合、収入源の1つになる。情報受信者はたくさんの情報を効率よく入手できるようになる。情報提供者には新たな広告媒体が提供される。その結果、川崎市全体が音楽の町として、確立する。

システムレンタルモデル



気軽に使えるシステムレンタルサービス「さあちず!」

短期的な利用やシステム運用を委託したい場合などに、「さあちず!」のシステムをレンタルすることができる。例えば、短期的なイベントでの利用や、専門知識がない企業が利用したい場合などが考えられる。レンタルすることで、短期的な「さあちず!」の利用や試験的な利用など、目的や予算に合ったサービス展開を行なうことができる。また、システムに詳しい企業にシステム運用を委託するので、準備にかかる労力を軽減することができる。システム開発者はシステム運用者にシステムをレンタルする際のレンタル手数料で収入を得る。システム運用者はシステム開発にかかるコストを抑えることができる。他は旅行者支援モデルと同じである。